
コノ惑星ヲ統ベル者

音無祐綺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コノ惑星ヲ統べる者

【Nコード】

N7921R

【作者名】

音無祐綺

【あらすじ】

この星はあたしの好きなように操れる。

だからあたしはクッキーをよーきゅーする！

クッキーを誰よりも愛する少女と平凡な大学生が織り成す奇妙な物

語。（多分）

始まりは小さなキツカケ（前書き）

読みにくいとは思いますがよろしくです。

始まりは小さなキツカケ

多分、運命ってやつはすでに決まっている。

僕たちは敷かれたレールの上しか走れない電車で、日記というものは過去のことを記録しているものとじゃなくて、実はすでに完成している脚本を書いてるだけなんじゃないかって、僕たちがどんなに足掻いたって変えられないもの。

そう考えた時、僕は人生が無性につまらないものになってしまった。

ありきたりの日々を過ごして年老いていくだけの人生。

夢も自然となくなってしまう。

そんなある日、僕は彼女と出逢った。

彼女と逢って閉鎖的だった僕の心は少しだけときめいた気がする。キツカケは覚えていないけれど多分誰もが気にも留めないほど些細なこと。

僕はその些細なキツカケを待っていたのかもしれない。

.....

ふと目が覚めるとあたしは浮いていた。

そこにおかしな点はどこにもない。

あたしはこの惑星を統べる人だから？

浮いていたって不思議じゃない。

おかしいのは目の前にいる人間があたしを見ていること、見ることのできないはずのあたしを見ていることだ。

あたしは生まれてから一度も人間に指を差されたことも触られたこともない。人間が透明人間という言葉を作ったけれど、あんな感じ（あれは触れられるけど）。

だから、今日の前にいる人間が寝ているあたしとぶつかって尻餅

をついた後、あたしを見て驚いていることに驚いている。

けど、まあそんなことはどうでもよかった。

「おなか空いた」

実際、そんなにおなかは空いてなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7921r/>

コノ惑星ヲ統ベル者

2011年11月5日23時42分発行